



連結決算支援サービス

CONSOLIDATED ACCOUNTING SUPPORT SERVICE

連結決算支援サービス

JBAグループが提供する連結決算支援サービスは、大手監査法人での豊富な実務経験を持ち、様々な企業へのアドバイザー実績を有するスタッフによる「連結決算資料の作成」支援サービスです。連結決算における具体的な「作成業務」を提供するとともに、クライアント企業のニーズに合った柔軟なサービスを提供しております。

● 連結決算業務を取り巻く環境・課題

連結決算業務には「教育」、「配置」、「働き方」、「正確性」、「採用」という5つの課題が内在していると考えられます。また、これらの課題は、それぞれ独立した課題ではなく、相互に絡み合い、他の課題に深く影響を及ぼす関係にあります。



Keyword 1
教育

教育—連結人材を育成し続けられるか？
人材育成のためのヒト・モノ・カネが用意できますか？

Keyword 2
配置

配置—今の決算体制を維持できるか？
人事ローテーションや退職などで優秀な人材が流出していませんか？

Keyword 3
働き方

働き方—働き方改革は実現できるか？
現在の業務を回しながら当該業務の改善活動ができますか？

Keyword 4
正確性

正確性—連結決算の正確性は確保できるか？
チェックやレビューにリソースを割けますか？

Keyword 5
採用

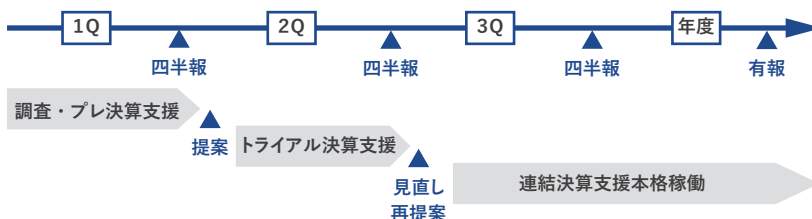
採用—連結人材を採用できるか？
連結決算に精通した人材を今後も採用し続けられますか？

これらの課題に対しては、特定の課題のみに囚われることなく、連結決算業務全体への影響を見極めながら解決に取り組む必要がありますが、昨今の環境変化等により、近い将来、社内リソースですべてを解決することには限界が来ると予想しています（自前主義の限界）。
弊社は公認会計士を中心とした連結決算支援をコア業務とするプロフェッショナル集団であり、御社のおよぎ「プロフェッショナルパートナー」として、連結決算業務を巡る課題解決を支援いたします。

● 導入スケジュール

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
フェーズ	調査	トライアル	本格働
作業内容	連結決算業務の作業分担を決定するため、御社の連結決算業務を調査します。また、御社内リソースで対応すべき業務を見極め、バランスよく業務を分担できるよう提案します。なお、必要に応じて、連結決算作業の支援もします。	フェーズ1の調査に基づき合意された業務分担に従って、トライアルの決算支援を実施します。このトライアルにより発見された課題や改善点を整理するとともに、業務分担等を見直し、連結決算支援本格稼働に向けて再度提案します。	フェーズ2のトライアル決算支援の結果を反映させ、連結決算支援を本格稼働させます。本格稼働後においても、発見された課題や改善点等は適時にシェアリングし、次回の連結決算作業に反映させていきます。
作業場所	On-Site	On-Site + Off-Site	On-Site + Off-Site

■ スケジュール（イメージ）

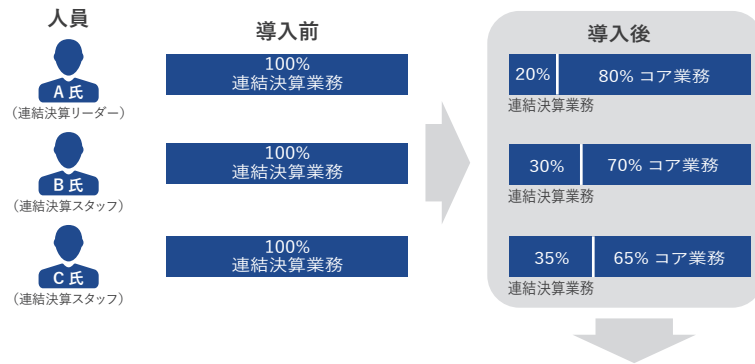


● 導入事例

■ ニーズ・背景

- 採用・教育** 経理人材の採用が困難、また育成にかかる予算、時間がない
- 配置・働き方** 経営企画、予算策定、経営分析などのコア業務に注力させたい
- 正確性** しかしながら、作業品質は落とせない（むしろ向上させたい）

■ 導入効果



約 70% の業務量をコア業務に移管
経営企画、予算策定、経営分析などのコア業務に注力

■ 業務分担イメージ

作業内容	クライアント	JBA
スケジュール・事前準備	全体管理	個別作業管理
連結 PKG 収集	回収管理	内容確認・照会・修正
連結財務諸表作成	確認・チェック	作成
注記作成	確認・チェック	作成
開示資料作成	確認・チェック	作成・システム入力
その他	監査対応	監査対応

- ・「作成」業務については弊社（JBA）、「管理・確認」業務については御社（クライアント）が担当
- ・具体的な業務分担は、社内リソースで対応すべき業務を見極め、バランスよく業務を分担

■ 導入メリット

プロジェクトマネジメントの早期経験

作業結果を確認・レビューすることで、制度会計のプロジェクトマネジメント業務を早期に経験することができ、通常の育成よりも短い期間での成長が可能。

人事ローテーションに対応できる環境を作り出し、連結決算業務での作業に限定されない採用・人材育成が可能。

管理会計の高度化

グループ会社全体での分析業務を実施することで、本質的な課題を考える機会を得ることが可能。

IR 部門や経営企画部門とのタイムリーな連携により、部門の枠を超えた経営管理が可能。

海外子会社管理の強化

海外子会社へ注力する時間が確保できるため、グループ会社管轄部門とのタイムリーな連携により、海外子会社の迅速な管理体制の構築が可能。



連結決算支援サービス

CONSOLIDATED ACCOUNTING SUPPORT SERVICE